

第4回句会 俳句

【高点句】

☆オリオンの冴えてしじまの深呼吸 〈千恵〉

☆都市という箱舟に息白きかな 〈抹茶〉

☆槌音の高く尖りて冬に入る 〈千恵〉

【各自一句】

・指させる爪のももいろ冬桜 〈紗希〉

・道迷ひ迷ひて寒し古戦場 〈静〉

・猫のごと背伸びをひとつ日向ぼこ 〈千恵〉

・幼子の頬の赤さや冬来たる 〈安津子〉

・思ひつきり投げる土器（かわらけ）もみぢ晴 〈眞澄〉

・居眠りか釣っているのか沼小春 〈一馬〉

・憂鬱に堪えきれないで冬の空 〈莫院〉

・冬の月ドコモタワーの針光る 〈抹茶〉

・冬きたる袖口伸ばし迎え待つ 〈撫子〉

・名月に涙腺ゆるむ老いた顔 〈隆司〉

・冬山やスープの香り運びけり 〈茂〉

・母の声聞く正月や陽はのどか 〈貪愚理〉

・拾ひたる銀杏（いちじょう）落葉のなよやかに 〈明美〉

\*以上、三十八句（三句ずつ十三名・うち一名は二句）より、選句は十四名による

\*高点句は、高得点の句より三句（同点の句がある場合は、第三位の句迄）

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による